

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	36-a 36-b	認知症で居室での安静やマスクの着用ができない利用者が多いため、施設内にウイルス感染症の患者が出た場合、広がり止められない恐れがある。	新型コロナウイルスの感染を予防し、健康で安心した生活ができる。	職員は職務内外で常に感染予防に注力する。管理者及び経営者は、感染予防に必要な物品を用意するとともに、職員やその同居者の健康状態を把握し、利用者や職員に対して最大限の感染予防措置を講じる。	12 か月	管理者は感染症対策の学習の機会を設け、4月、8月に注意喚起の文書を全職員に配布している。また、必要と思われる防護用品や検査キットを備蓄し、すぐに使用できる状態にしている。職員は自らの健康管理に努め、出勤時の検温、同居人の健康管理を行い、県をまたいで移動は施設管理者の許可を得て行うようにしている。
2	13-a 13-c 13-d	新型コロナウイルス感染防止の為、買い物や地域行事への参加などの施設の外での活動が少なくなっている。	施設の中での生活を充実させる	ソーシャルディスタンスを保ったレクリエーション活動、ベランダや中庭での活動を支援する。個別での人との接触の少ない場所への外出支援を行う。(感染縮小期のみ)	6 か月	中庭に花を植えたり、野鳥を餌付けするなど、ベランダで楽しむ環境ができつつある。外出支援は久万高原町の交通利用券を活用して、車いすのかたにもドライブなどを楽しんでいただけるように計画をしている。
3	37-a 37-b 37-d 37-j	家族との直接での面会ができない為、家族とのつながりが少なくなっている利用者がある。	利用者と家族が互いにつながりを感じることができる。	いこい新聞で施設の様子を発信する。家族にオンライン面会の設定などの支援を行う。インターフォンを使ったガラス越しの面会を推奨し、利用を増やす働きかけを行う。家族と電話で話ができるように働きかける。	6 か月	本年8月に施設のLINEアカウントを取得し、家族とタブレットでのやり取りができるようになった。
4	42-a	外部の職員研修が受けられないが、コロナ以前のようにスキルアップ学習をしていきたい。	職員全員が学習する機会を持ち、スキルアップをすることができる。	管理者及び経営者はeラーニングによる研修が受けられるよう、配信業者との契約、受講内容の選定等を行い、職員に周知し、全員が複数回受講できるようにする。職員は施設や自宅において、動画配信による学習を行う。	3 か月	愛媛県在宅介護研修センターの動画配信講座を活用して、職員ひとりひとりのスキルアップにつなげている。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()